

## 令和3年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	九州大学	タイプ	A①
事 業 名	アジアのゼロ・エミッション持続循環型環境都市を牽引する人材育成・協働教育プログラム		
海外の相手大学	同済大学、釜山大学校、シンガポール国立大学		

〔評価コメント〕

本事業計画は、国際的な環境問題解決のため、都市建築環境分野における俯瞰力、実践力、国際力を備えた高度専門人材を育成することを目的に、これまで実施してきた同済大学と釜山大学校との交流プログラムにおいて確立した環境教育の国際標準教育モデルを基礎に、更なる発展を目指した意欲的な取組である。新たに ASEAN よりシンガポール国立大学を加えて、カリキュラムの構成に関する具体的な検討、教育管理システムによる学生の遠隔サポートといった、教育内容のフォロー体制が構築され、4大学間の単位認定やその調整方法についても、具体的な検討がなされている。ジョイント・ディグリー・プログラム(JDP)の構築も含め、今後の本事業の実現可能性が期待できる。

一方で、先導的な教育目標として提言されている同済大学、釜山大学校それぞれの都市、建築像に必要な政策や特色が不明確である。学生の実渡航前の情報提供や渡航後のフォローアップに関して、従来よりも充実させようとする具体的な内容が明確に示されていない。また、適地展開能力の育成を目指すには、短期の現地視察や分析だけでなく、より長期間の滞在又は初歩的な現地語習得の機会の必要性を考慮すべきであり、企図されている教育進捗の確認や修学支援に関して、具体的な尺度や指標について一層の検討が必要である。また、同窓会ネットワークは設立から間もなく、具体的な活動内容について一層の可視化が必要であり、今後の事業推進において、情報交換や広報活動に十分に活かしていくことを期待する。

最後に、今回選定された貴学においては、将来の我が国と相手国との関係を見据え、質保証を伴う国際教育連携の先導的モデルに中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、事業内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。